

この便りは、豊小ホームページでご覧いただくと写真が大きくきれいに見られます。

令和7年度 豊川市立豊小学校 学校だより

ゆたか

第13号

2025.11.17



立派でしたね
ばつた5・6年生←
会場片付けも
がんばった
学芸会が終わって

★「みんなで見せよう 成長の輪」を合い言葉にがんばった学芸会

インフルエンザの拡大防止のため、校内発表会を分散開催としましたが、学芸会当日は全学年が発表をすることができました。来校された皆様には、子どもたちが、それぞれの目標に向かって懸命に練習したこと、新たな成長を遂げたことを感じていただけたと思います。温かい拍手と笑顔を贈ってくださいり、本当にありがとうございました。

～本番後の各学年児童の振り返りを紹介します(演目順)～



★5年生『光がつなぐ心』

- ◇アトムの合奏は指揮者をよく見たから、たぶん過去最高にうまくできた。周りの人に声をかけることが今までよりもっとできるようになった。
- ◇劇では、見ている人全員に、その風景を思い浮かべてもらえるように願って、しっかり演じた。
- ◇光の舞は指の皮がむけるくらい家でも練習した。

最初はできなくて無理だと思ったけれど、ちょっとずつできるようになって、とてもうれしくて、本番で成功して「練習してきてよかった」と思った。



★3年生『手ぶくろを買いに』

- ◇きんちょうしたけど、みんながゆうきをだしてセリフをいって歌うすがたを見て、かっこいいと思ったので、「おなじ3年生、自分も3年生だから自分にもできる!!」とむねをはって大きく歌った。そしたら、お母さんとお父さんのえがおが、もっともっとすてきなえがおになった。うれしかった。



- ◇セリフや風の動き、歌が、すごく気もちよくできて、すごくたのしかった。



★1年生『わくわくするもの さがしにいこう』

- ◇がんばったことは、にっこりしたことです。ハーモニカをたのしくふけました。
- ◇ぼくは、もともと「こいぬのマーチ」がにがてでした。でも、いっぱいれんしゅうして、ほんばんのときには、じょうずにできました。
- ◇きんちょうしたけど、タンバリンがうまくいったよ。ドキドキしたけど、たのしかったよ。



★4年生『世界子どもトラベラー』



◇気をぬかず、じしんをもってできた。練習をむだにせずに取り組めたし、後悔なく、もう一回やりたいくらい楽しめた。学年目標「自ら行動」がとてもできたし、学年も、最初は先生が声をかけないと動けなかったけど、みんなで声をかけあって次のことに移れるようになったと思う。

◇1000000%でがんばれた。とくにセリフを大きい声で言えた。はじめのころは小さい声だったので、成長の輪というスローガンのようになれたと思う。この成長を学校生活にも生かしていきたい。



★2年生『ブック・トゥ・ザ・フューチャー～未来への本～』

◇声をはっきり出して、めっちゃかんぺきに動くことができた!!たのしかったことは、さいこうの思い出ができたこと!!



◇みんなを笑わせるように、声をでかくして体も大きく動かした。みんなが笑ってくれたから、うれしかった。



◇みんなのお父さんお母さんが笑ってくれた。笑わせるのは、こんなにたのしいんだと思った。



★6年生『PEミュージカル～パワー！！！！～』



◇最初のAさんの「さあ始まりました！PE ミュージカルパワー！」のセリフで、みんなスイッチが入ったのを感じました。ゴジラの曲が始まる前、みんな静かで動かなくて、あとで動画を見た時「かっこいいな」と思いました。

◇普段は仲が良くない人もいるけど、この学芸会では、6年生の全員が手を取り合って協力し合って、結果、とても良い学芸会になったということが心に残りました。ダブルダッチの上手な人が凄い、とかではなく、6年生全員でこんなに良い学芸会にできて、ようやく自分達の学年が一つになった気がして、そこが心に残りました。練習では何度もつらいことがあったけど、それでもあきらめずに何度も何度も練習を重ねて、最後はきれいに一体になれてよかったです。

◇豊小の最後の学芸会、楽しかったです。練習の時に友達に教えてもらったり、自分が教えてあげたり、お互い助け合いました。すごくいい思い出が残りました。

◇(この学芸会で経験したように)「一人一人がちがうことをやっていても、最後は一つのことにまとまって大きな力になる」というのがいいな、と思いました。どんなことをしていても、自分の人生、将来に関わってくるので、いろいろな人と協力をしていけたらな、と思います。